

## 一喜一憂

「一喜一憂」

情況の変化に喜んだり、  
心配したりすること藤屋 保士  
(下松市幸ヶ丘)

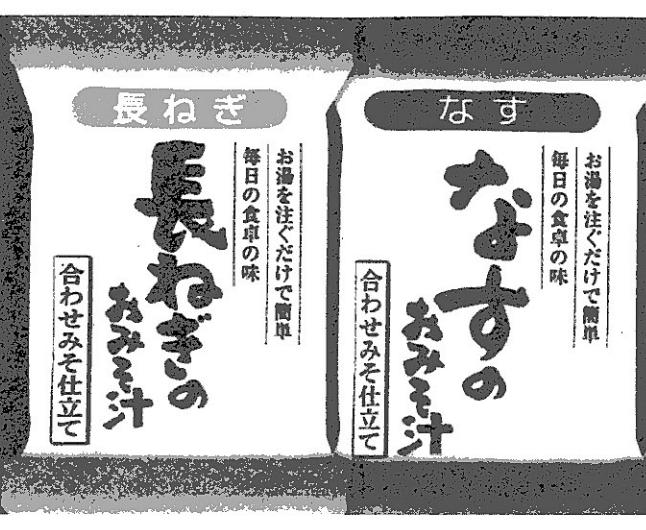
No. 2

## 寒さの中、味噌づくり

「底をつく寒さ」と喰、しょうゆの仕込み  
久しく聞かなかつた言にはかかせないそ  
葉を思い出した。1年だ。みそ作り得意な  
季になる大寒を迎え 友人が言つていた。

老いの身には、今年仕込みの真つ最中かも  
の寒さは身にしみた。仕込みは春が待ち遠しい。そん  
な時季だからこそ恵みもある。いわゆる“寒の水”(かんのみず)  
と言われるもの。1年でもっとも冷たく澄み  
きつた水とか。この清らかな水が日本酒や味

長ねぎ なす  
長ねぎのみじゅう なすのみじゅう  
お湯を注ぐだけで簡単 毎日の食卓の味 合わせみそ仕立て



久しぶりの春のよう  
な陽気につれられて、  
5歳を迎えた孫と散歩  
を楽しんだ。

若いころ、子どもたちを連れて歩いた山道のドングリの木も大木になり、大・小のドングリが道に転がっていた。今は、孫が「ドングリが帽子をかぶっている」と喜んで拾つて

いる。

少し行くと田んぼのあぜ道に出る。道ばたの祠(ほこら)で、穏やかな笑みを浮かべ私

うちは2人で生活しているので、おそらく

妻の友人の奥さん連中も4、5人が集まつて

この時期味噌作りに精

病気をしませんよう

味噌、しょうゆ工場は仕込みの真つ最中かも

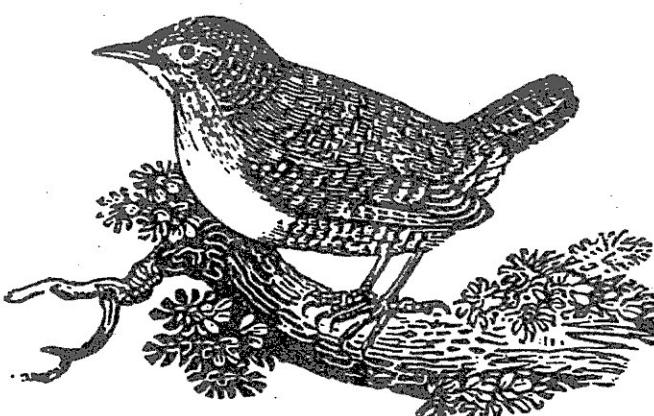
しない。日本酒は春先に、味噌、しょうゆ

聞くと、「パパとママが

の身には大豆を煮て、つぶすのはひとつ苦労。

去年からは、知恵を出し合つて、大豆はミキ

曰く“急がば回れ”。



春が待たれる



各地で「子育て地蔵」と

たちの訪れを見守るか  
か「身代わり地蔵」と  
のようなお地蔵様と出  
会う。今日は新年はじ  
めでのお地蔵様との出  
会いの日、名付けて「初  
地蔵」。孫はいつ覚え  
ていてるとか。それでも  
手づくりはうまい。今  
年もおやすみ分けを期待  
している。

「何つて祈つた?」と  
聞くと、「パパとママが  
病気をしませんよう

率のよい面が強調され  
たのか直立不動の姿勢  
で手を合わせていた。  
「何つて祈つた?」と  
も、ゆっくりを味わう  
のもよい。

手づくりに勤しむ婦人

この道を通りた。

百姓さんや学  
童たちも手を  
合させて何ら  
かの願いを託し  
たりしたのであ  
る。